

「上野三碑を考える」

群馬県立女子大学 北川 和 秀

1. 知事広めたい「東国文化」 群馬県民の6割「知らない」

県が発信に力を入れる「東国文化」だが、知らない人が6割——。県が行った県政県民意識アンケートで、こんな結果が出た。所管する文化振興課の担当者は「昨年ゼロから始めた取り組み。東国文化の中身を県民にしっかり伝える」と巻き返しを誓う。

広報課によると、このアンケートは昨年度に始め、今回が2回目。無作為抽出した成人3千人に調査票を郵送で送り、1824人が回答（回収率60・8％）。東国文化や群馬の食などは初めて尋ねた。

「東国文化」の発信は、大沢正明知事が昨年初に打ち出した肝いり施策。だが、アンケートでは「知らない」が最多の58・9％。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」30・4％、「だいたい知っている」6・9％、「よく知っている」1・6％で、言葉自体の認知度が低かった。

ただ、岩宿遺跡は68・3％、金井東裏遺跡で出土したよろいを着た人骨39・7％、上野三碑37・7％など、個々の遺跡を知っている人は少なくなかった。

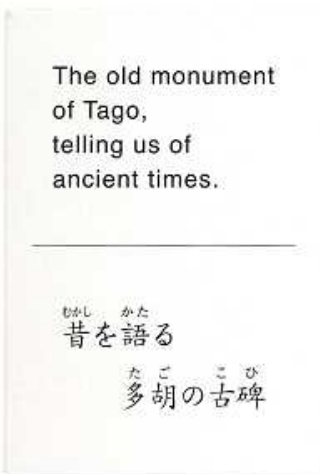
また、郷土料理で県外に薦めたいのは、焼きまんじゅうが77％で首位。県が推すおつきりこみは49・5％で、手作りうどん・そば、コンニャク料理を下回る4位だった。県育成の農産物品種では、米の「ゴロピカリ」92・7％、イチゴの「やよいひめ」78・1％の認知度が高かった。

県政への満足度では、前年度より「地域医療」「少子化対策・子育て環境」などは下がり、「犯罪防止」「雇用対策」などは上がった。（小林誠一）

（平成二十五年十月三日 朝日新聞群馬版）



Old Monument of Tago



2. 上野三碑は国の特別史跡

*国指定の史跡は一七〇一件（平成二十四年九月十九日現在）。

そのうち、群馬県内の史跡は四七件。

*国指定の史跡のうち、特に重要なものは特別史跡に指定されている。

特別史跡は全国でわずかに六一件のみである（平成二十四年九月十九日現在）。
そのうち、群馬県内の特別史跡は三件。それが上野三碑。

*特別史跡にはたとえば次のようなものがある。

五稜郭跡（北海道）、三内丸山遺跡（青森県）、中尊寺境内（岩手県）、
日光杉並木街道附並木寄進碑（栃木県）、**金井沢碑**（群馬県）、
山上碑および古墳（群馬県）、**多胡碑**（群馬県）、江戸城跡（東京都）、
一乗谷朝倉氏遺跡（福井県）、登呂遺跡（静岡県）、名古屋城跡（愛知県）、
本居宣長旧宅同宅跡（三重県）、安土城跡（滋賀県）、彦根城跡（滋賀県）、
慈照寺（銀閣寺）庭園（京都府）、鹿苑寺（金閣寺）庭園（京都府）、
大坂城跡（大阪府）、姫路城跡（兵庫県）、キトラ古墳（奈良県）、
高松塚古墳（奈良県）、石舞台古墳（奈良県）、藤原宮跡（奈良県）、
平城宮跡（奈良県）、厳島（広島県）、大宰府跡（福岡県）、
吉野ヶ里遺跡（佐賀県）、熊本城跡（熊本県）

3. 山ノ上碑



所在地：高崎市山名町
年代：天武十年（六八一）
材質：自然石輝石安山岩
寸法：高さ 一二〇 cm
幅 五〇 cm
厚さ 五〇 cm



【釈文】

辛巳歳集月三日記
佐野三家定賜健守命孫黒壳刀自此
新川臣児斯多々弥足尼孫大児臣娶生児
長利僧母為記定文也 放光寺僧

【訓読文】

辛巳の歳集月三日記す。
佐野の三家と定め賜ひし健守命の孫黒壳
刀自、此れ新川臣の児斯多々弥足尼の孫大
児臣に娶ひて生める児、長利僧、母の為に
記し定むる文也。放光寺の僧なり。

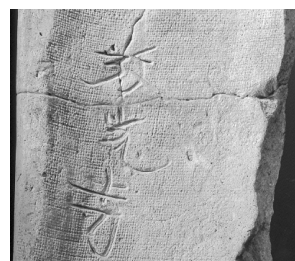
健守命 — ○ — 黒壳刀自

長利僧

新川臣 — 斯多々弥足尼 — ○ — 大児臣

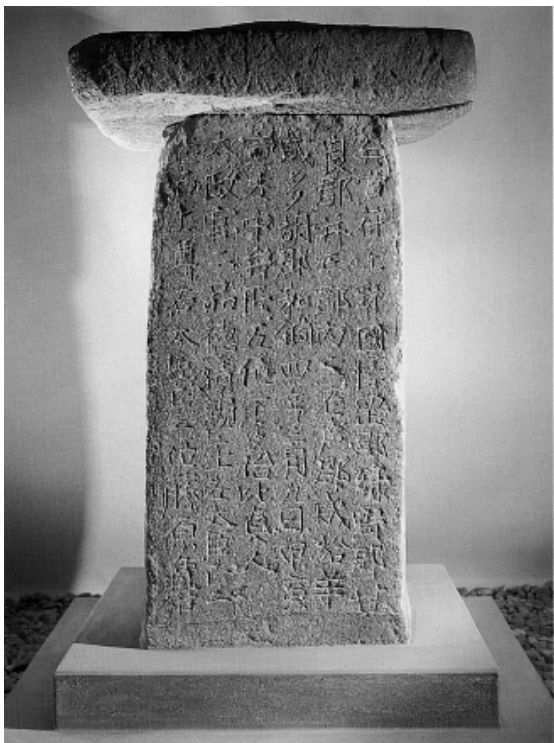
○参考

棟百傳と秋情は猶者も不得故我者又來し故是汝トヤ
自舟人率而可也 其福在處者大知評平留五十戸旦波博士家



・棟直伝之我持往稻者馬不得故我者反來之故是汝ト部
・自舟人率而可行也 其稻在處者衣知評平留五十戸旦波博士家
(滋賀県西河原森ノ内遺跡出土木簡。天武朝中期)
・棕直伝ふ。我が持ち往たりし稲は、馬得ぬ故に、我は反り來し。故、是の汝ト部、自
ら舟人率て行くべし。其の稲の在處は、衣知評平留五十戸の旦波博士の家ぞ。

4. 多胡碑



所在地…高崎市吉井町池
年代…和銅四年(七一一)
材質…牛臥砂岩
寸法…(碑身)
高さ 一二五・五 cm
上幅 六〇 cm
下幅 六三 cm
(笠石)
高さ 二五・五 cm
軒幅 八八・五 cm



【釈文】

弁官符上野国片岡郡緑野郡甘
良郡并三郡内三百戸郡成給羊
成多胡郡和銅四年三月九日甲寅
宣左中弁正五位下多治比真人
太政官二品穂積親王左大臣正二
位石上尊右大臣正二位藤原尊

【訓読文】

弁官の符に、「上野国片岡郡、緑野郡、甘良郡、
あは并せて三郡の内三百戸を郡と成し、羊に給ひて、
多胡郡と成す」とあり。和銅四年三月九日甲寅の
宣なり。左中弁正五位下多治比真人、太政官二品
穂積親王、左大臣正二位石上尊、右大臣正二位藤
原尊なり。

○参考 1

①上野国甘良郡の織裳・韓綴・矢田・大家、緑野郡の武美、片岡郡の山等の六郷を割きて、別に多胡郡を置く。
(続日本紀 和銅四・三・六) 711

②片岡郡

若田 和加多 多胡 高渠 太加無曾 佐没 長野 奈加乃

……

多胡郡

山宗 也末奈 織裳 於利毛 辛科 加良之奈 大家 武美 浮囚 八田

(二十卷本『倭名類聚抄』卷七より)

多胡郡 山字 織裳 辛科 大家
武美 八田

(高山寺本和名抄)

*吉井町黒熊の奈良時代の寺院跡とされる遺跡からは「山字乙稻目」という文字のある瓦が出土している。

○参考 2

・上野国に在る新羅人子午足等一百九十三人に姓を吉井連と賜ふ。

(続日本紀 天平神護二・五・八) 766

○参考3（石上尊、藤原尊について）

①天地の中に一物生れり。^{ひとつのもののな}状葦牙の如し。^{かたちあしかび}便ち神と化為る。^{すなは}国常立尊と号す。^{くにのとこたちのみこと}至りて貴きをば尊と曰ふ。^{これよりあまり}餘をば命と曰ふ。^{すなは}並に美挙等と訓ふ。^{みこと}下皆此に效へ。^{しもこれなら}

（『日本書紀』卷一）

②謹白

進上鳥等

右件物、以月廿一日可用者、乞照此趣、不論昼夜、佐官高屋宅、仍具状、

謹白、

一進上鴨二翼直一百卅文

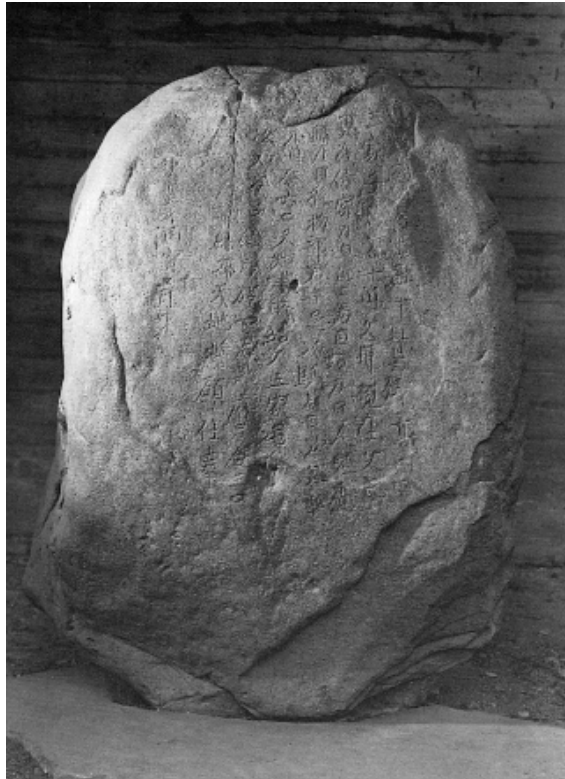
右御料買求、進上如上件、

謹上 吉成尊侍者

（天平宝字）七年二月廿日上馬養狀

（上馬養狀〔正倉院文書〕）763

5. 金井沢碑



所在地：高崎市山名町
年代……神龜三年（七二六）
材質……自然石輝石安山岩
寸法……高さ 一一〇 cm

幅 七〇 cm
厚さ 六五 cm



【釈文】

上野国群馬郡下賛郷高田里
三家子孫為七世父母現在父母
現在侍家刀自池田君目頼刀自又児加
那刀自孫物部君午足次駄刀自次乙駄
刀自合六口又知識所結人三家毛人
次知万呂鍛師礬部君身麻呂合三口
如是知識結而天地誓願仕奉
石文

神龜三年丙寅二月廿九日

【訓読文】

上野国群馬郡下賛郷高田里の三家の子孫、七
世の父母・現在の父母の為に、現在侍る家
刀自、池田君目頼刀自、又児加那刀自、孫物
部君午足、次に駄刀自、次に乙駄刀自、合
せて六口、又知識に結べる人、三家毛人、次
に知万呂、鍛師礬部君身麻呂、合せて三口、
如是知識に結びて天地に誓み願ひ仕へ奉る
石文。

神龜三年丙寅二月廿九日

○参考1（氏族について）

①上野国甘楽郡の人中衛物部蛭淵ら五人に姓を物部公と賜ふ。

（続日本紀天平神護元・一一・一）765

②上野国甘楽郡の人外大初位下礬部牛麻呂ら四人に姓を物部公と賜ふ。

（続日本紀天平神護二・五・二〇）766

○参考2（「下賛」について）

*大宝四年（七〇四）頃に国名の漢字二文字化が行われた。

・近淡海↓近江、遠淡海↓遠江、上毛野↓上野、下毛野↓下野、无耶志↓武蔵、
倭↓大倭、嶋↓志麻・志摩、木↓紀伊、栗↓阿波など

*それに遅れて、和銅四年（七一）頃に郡里名の漢字二文字化の指示も出された。こち
らは数も多く、時間が掛かったようで、神龜三年（七二六）には、二文字化を促す通達
も出ている。

○参考3（「知識」「誓願」について）

①菩薩の大願を發して、盧舍那仏の金銅像一軀を造り奉る。国の銅を尽して象を鎔、大
山を削りて堂を構へ、広く法界に及して朕が智識とす。

（続日本紀天平一五・一〇・一五）743

②河内国の人外大初位下河俣連人麻呂は錢一千貫、越中国の人无位礬波臣志留志は米三千
碩を盧舍那仏の知識に奉る。並に外従五位下を授く。（続日本紀天平一九・九・二）747
③上野国碓氷郡の人外従七位上石上部君諸弟、尾張国山田郡の人外従七位下生江臣安久
多、伊予国宇和郡の人外大初位下凡直鎌足等、各当国の国分寺に知識の物を献る。並
に外従五位下を授く。

（続日本紀天平勝宝元・五・一五）749

④天皇、皇太子・大臣及び諸王・諸臣に詔して、共に同じく誓願ふことを發て
て、始めて銅・繡の丈六の仏像、各一軀を造る。

（日本書紀推古一三・四・一）605

⑤皇后、体不予したまふ。則ち皇后の為に誓願ひて、初めて薬師寺を興つ。

（日本書紀天武九・一一・二二）680